

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成23年3月24日(2011.3.24)

【公表番号】特表2010-518853(P2010-518853A)

【公表日】平成22年6月3日(2010.6.3)

【年通号数】公開・登録公報2010-022

【出願番号】特願2009-550879(P2009-550879)

【国際特許分類】

A 01 M 13/00 (2006.01)

A 61 L 9/12 (2006.01)

B 65 D 83/00 (2006.01)

【F I】

A 01 M 13/00

A 61 L 9/12

B 65 D 83/00 F

【手続補正書】

【提出日】平成23年2月4日(2011.2.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

活性物質拡散装置であって、

容器と、

バッテリ駆動される活性物質放出用の装置であって、前記装置はその使用時において前記容器の内部に配設されるようにされている装置と、

前記容器の頂部に配設され、かつ前記装置の不使用時に前記装置を前記容器内部に囲い込むカバーと、

を含む活性物質拡散装置。

【請求項2】

前記カバーが可撓性材料でできていることを特徴とする請求項1に記載の拡散装置。

【請求項3】

前記活性物質が昆虫防除活性成分であることを特徴とする請求項1に記載の拡散装置。

【請求項4】

前記装置が前記活性物質を放出するためのアトマイザセンブリを備え、前記活性物質の放出速度が活性物質の噴出から噴出までの滞留時間で約250ミリ秒から約500ミリ秒の間であることを特徴とする請求項1に記載の拡散装置。

【請求項5】

前記装置が光も放出することを特徴とする請求項1に記載の拡散装置。

【請求項6】

前記カバーが、その表面から伸長する第1、第2および第3の環状フランジを備えることを特徴とする請求項1に記載の拡散装置。

【請求項7】

前記カバーの中央部への加圧が前記装置に伝達されて、前記カバーの中央部が下向きに動かされると前記装置内のスイッチが起動されることを特徴とする請求項2に記載の拡散装置。

【請求項 8】

活性物質拡散装置であつて、
開口を有する容器と、
前記容器の前記開口の内部に配設された、活性物質を放出する電子装置と、
前記開口を閉じかつ前記容器内に前記電子装置を囲い込むために、前記容器に取り外し
自在に取り付けられた可撓性カバーと、
を備え、
前記カバーの一部に加えられた圧力が前記電子装置に伝達されて前記電子装置を作動さ
せることを特徴とする活性物質拡散装置。